

令和 4年度 ( 3年度決算分 ) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	健康福祉総務課
	施策	地域福祉の推進		電話番号	087-839-2372
	基本事業	地域福祉活動の充実		事業実施主体	市
	事務事業	社会福祉団体活動助成事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松市社会福祉協議会及び社会福祉諸団体に対し、行政では対応し難い福祉需要への多様な取組みに対し、社会福祉法に基づく財政支援を行い、地域福祉の推進を図る。		
年度の概要	社会福祉の向上を図るため、高松市社会福祉協議会及び社会福祉諸団体(3団体)の事業に対し、補助金を交付するとともに、たすけ合い金庫資金を貸し付ける。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象(何を)	高松市民
意図(どのような状態にしたいか)	地域住民の日常生活上の諸問題の解消、軽減を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
補助金交付団体数	団体	5	5	4	4	4

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
相談件数	件	目標値	220	220			
		実績値	304	223			
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 成果指標として掲げていた「心配ごと相談」の相談件数については、令和3年度より当事業の財政支援を廃止したため、実績値を空欄としている。	(目標達成度)						(達成度)
法人成年後見事業受任件数	件	目標値			49		
		実績値			49		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 社会福祉協議会の事業として平成26年度より行われていた、法人成年後見事業を、令和3年度より成果指標として追加した。前年(令和2年度)の受任件数を目標として設定したが、実績値として目標を達成できた。	(目標達成度)						(達成度) 100.0% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成3年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(予算)
トータルコスト	[千円]	132,239	132,392	133,692	136,979
(事業費)	[千円]	128,445	123,414	123,877	127,164
(職員人件費)	[千円]	3,794	8,978	9,815	9,815

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

地域福祉推進のための事業を実施する高松市社会福祉協議会に対して補助金を交付することにより、地域福祉活動の充実に寄与した。また、社会福祉団体に補助金を交付することにより、地域福祉を支える基盤づくりに寄与した。令和3年度は、「ふれあいのまちづくり事業費」を廃止した。今後、その他の補助金についても見直しを検討していく。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

厳しい財政事情を踏まえ、補助金の削減について各団体と検討していく。高松市社会福祉協議会については、平成30年度から経営赤字に対する人件費の強化分を増額している。令和2年度には、補助金の支出方針自体について見直しを行った。見直し点については、「市社協全体の収支について赤字補てんするのではなく、総務・地域福祉部門の補助割合を見直し、今後、一定割合での補助を行うこととした。ただし、この定率補助については、令和6年度までの4年間とし、その後については、経営状況等を勘案し、再度判断するもの」とした。

令和 4年度 ( 3年度決算分 ) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	健康福祉総務課
	施策	地域福祉の推進		電話番号	087-839-2372
	基本事業	地域福祉活動の充実		事業実施主体	市
	事務事業	戦争犠牲者追悼式等事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	日華事変(日中戦争)以降における戦没者、高松市戦災(高松空襲)犠牲者及び外地犠牲者等の御霊10,664柱を祭祀するため追悼式典を開催する。また、慰霊事業の推進のため、37地区遺族会及び2遺族団体に事業補助金を交付する。				
年度概要	1 令和4年度高松市戦争犠牲者追悼式 ・日時 令和4年10月4日 ・事由 日華事変(日中戦争)以降における戦没者、高松市戦災(高松空襲)犠牲者及び外地犠牲者等の御霊10,664柱を祭祀 ・周知方法 案内状発送 広報掲載 関係3団体に周知				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類			

【事業の目的】

対象(何を)	戦争犠牲者
意図(どのような状態にしたいか)	戦争犠牲者の冥福を祈り、戦争の悲惨さと平和の尊さを再認識する場を提供することにより、二度と戦争を繰り返さない社会の実現を目指す。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
追悼式案内状配布件数	通	3,588	1,252	1,179	3,600	3,261

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
成果指標	追悼式参列者率	%	目標値	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1
			実績値	8.9	4.1	8		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 新型コロナウイルス感染症の影響により、戦争犠牲者追悼式については規模を大幅に縮小して開催したため、成果指標の達成度については、判断し難い。 (目標達成度)							(達成度) 98.8%
								34点
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成3年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(予算)
トータルコスト	[円]	7,433	6,957	7,143	8,071
(事業費)	[円]	3,639	2,468	2,613	3,541
(職員人件費)	[円]	3,794	4,489	4,530	4,530

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入) 戦争犠牲者の冥福を祈り、戦争の悲惨さと平和の尊さを再認識し、戦争を繰り返さない社会の実現を図るため、戦争犠牲者追悼式を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小して開催した。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入) 今後も参列者数が減少することが見込まれていることから、参列者数が大幅に減少するようであれば、小規模な会場への変更や、事業のあり方自体を検討する必要がある。			

令和 4年度 ( 3年度決算分 ) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	健康福祉総務課
	施策	地域福祉の推進		電話番号	087-839-2372
	基本事業	地域福祉活動の充実		事業実施主体	市
	事務事業	災害援護事業		事業期間	平成 28年度 ~ 令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者など避難行動要支援者に対して災害情報の提供や避難等の手助けが地域の中で素早く安全に行われる体制づくりの推進及び災害が生じた場合の支援等の援護事業		
年度の概要	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者など避難行動要支援者に対して、災害情報の提供や避難等の手助けが地域の中で素早く安全に行われる体制づくりの推進及び災害が生じた場合の支援等の援護事業		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	要介護認定3~5の人など災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者の方などの避難行動要支援者。
意図(どのような状態にしたいか)	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者の人など(避難行動要支援者)に対して、災害情報の提供や避難等の手助けが地域の中で素早く、安全に行われる体制づくりを推進する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
避難行動要支援者新規登録希望調査票発送数	件	4,531	4,274	3,879	5,000	5,000

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
避難行動要支援者新規登録率	%	目標値	20	20	20	20	20
		実績値	11.7	13	12		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 令和3年度における避難行動要支援者登録対象者3,879人に対して申請書を送付したところ、2,186人から返信があり、465人の登録希望があった。登録率は12.0%で、目標値としていた20%を下回ったが、登録を希望しない人のうち、約83%が「自力で避難できる」など、登録の必要がない旨の回答を得ている。		<p>(達成度) 60.0% 21点</p>					
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)		目標値					
		実績値					

【コストの推移】

指標名	単位	平成3年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(予算)
トータルコスト	[千円]	11,975	15,347	19,960	19,859
(事業費)	[千円]	2,111	1,879	6,370	6,269
(職員人件費)	[千円]	9,864	13,468	13,590	13,590

【評価】

評価ランク (A~D)	C	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

避難行動要支援者の新規対象者に対して、登録希望調査票を個別に送付し、登録を呼びかけたほか、地域の説明会等に職員を派遣し、避難行動要支援者名簿の更新や個別避難計画作成について理解を得られるよう図った。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

引き続き地域コミュニティ協議会など、地域支援組織と連携しながら、避難行動要支援者名簿の情報更新と併せて、個別避難計画策定に向けての取り組みを強化していきたい。

令和 4年度 ( 3年度決算分 ) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	地域共生社会推進室
	施策	地域福祉の推進		電話番号	087-839-2372
	基本事業	地域福祉活動の充実		事業実施主体	市
	事務事業	若者育成支援推進事業		事業期間	平成 29年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	社会生活を営む上での困難を有する若者を支援するため、高松市若者支援協議会を設置し、協議会を構成する関係機関の情報交換を行うとともに、相互に協力・連携することで、若者それぞれの置かれた状況等にきめ細やかに対応できる支援体制を構築する。					
年度概要	協議会の開催	1回/年	代表者会議	1回/年	実務者会議	1回/年
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業 (法律による実施義務有)			


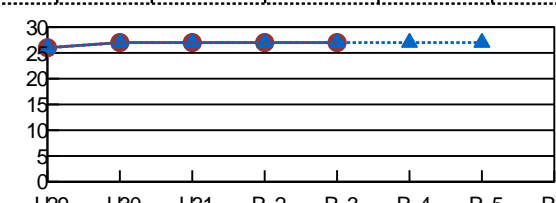

【事業の目的】

対象(何を)	ひきこもり・ニート・貧困等の困難を有する若者 (15歳～39歳)
意図(どのような状態にしたいか)	ひきこもり・ニート・貧困等の困難を有する若者が、健やかに成長し、持てる能力を生かし自立・活躍することができるようにする。

【事業の活動】

活動指標名 (具体的などのような活動をしたか)	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
協議会等の開催回数	回	1	1	1	3	3

【事業の成果】

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
協議会の構成団体数	団体	目標値	27	27	27	27	27
		実績値	27	27	27		
成果指標の達成度 (目標に対してどれだけ達成できたか) 高松市若者支援協議会代表者会議において6つの分野の機関に協賛として協議会に参加いただき、重層的支援体制整備事業のうち参加支援事業を検討するに当たっての意見を徴取した。 	(目標達成度)		(達成度)	100.0%	35点		
成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度 (目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)		(達成度)				

【コストの推移】

指標名	単位	平成 3年度 (決算)	令和 2年度 (決算)	令和 3年度 (決算)	令和 4年度 (予算)
トータルコスト	[円]	8,390	10,249	9,203	11,023
(事業費)	[円]	43	73	67	377
(職員人件費)	[円]	8,347	10,176	9,136	10,646

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

令和 4年度から実施する重層的支援体制整備事業のうち、主にひきこもりの方を対象とした参加支援事業を検討するに当たって、職種を始めとした人員体制や、委託内容の設定等について意見聴取した。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

引き続き、困難を有する若者とその家族のニーズを把握するとともに、支援機関の意見等も聴きながら、より効果的な支援施策を検討していく。

令和 4年度 ( 3年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	地域共生社会推進室
	施策	地域福祉の推進		電話番号	087-839-2372
	基本事業	地域福祉活動の充実		事業実施主体	市
	事務事業	ほっとかまち高松づくり事業(高松型地域共生社会構築事業)		事業期間	平成30年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	子ども・高齢者・障がい者など全ての人が地域で暮らし、生きがいを共に創り、高め合えることができる「地域共生社会」の実現のため、まるごと福祉相談員を配置し、地域の拠点や複合的課題を抱えた世帯等を訪問し、支援につなぐとともに、総合センター等に関する状況にある福祉相談窓口を設け、分野別の縦割りを超え、適切な支援を受けられる環境づくりを進める。また、子どもの貧困対策コーディネーターを配置し、相談支援体制の整備や関係機関とのネットワーク構築を図る。子どもに関する諸問題に対応するため、コーディネーターを配置し、相談支援体制の整備や関係機関とのネットワーク構築を図る。
-------	---

年度概要	まるごと福祉相談員の配置等 参加支援事業の委託料 事業周知啓発チラシ作成・配布 国の研修会参加等 ヤングケアラー関連
------	--

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	1-	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務有)
--------	------	----------	----	---------	-------------------

【事業の目的】

対象(何を)	高松市内在住の複合的課題を抱える高齢者・子ども・障がい者など支援を要する方・関係行政機関・団体、地域の企業、NP、自治会その他の関係者など
意図(どのような状態にしたいか)	高齢者・子ども・障がい者などの分野にかかわらず、多くの地域生活課題について「まるごと福祉相談員」や地域の身近な拠点である総合センター等で、福祉の相談を受け付け、支援をコーディネートすることで、ワンストップサービスの向上を目指すとともに、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる活動を推進する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的などのような活動をしたか)	単位	H31	R2	R3	R4	中期目標 R4
まるごと福祉相談員の配置	人	3	4	5	5	5
コーディネート研修会・勉強会等開催数	回	4	4	5	4	4

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R2	R3	R4	中期目標 R4
アウトリーチ(地域での情報収集・戸別訪問等)件数	件	目標値	994	1,712	2,816	3,644	3,644
		実績値	732	854	5,959		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度) 211.6% 35点
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度) 32.1% 11点

【コストの推移】

指標名	単位	平成3年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(予算)
トータルコスト	[千円]	46,155	54,898	58,196	78,392
(事業費)	[千円]	17,321	23,474	31,016	45,172
(職員人件費)	[千円]	28,834	31,424	27,180	33,220

【評価】

評価ランク (A~D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

まるごと福祉相談員の対象エリアを、市内全域に拡充して配置したほか、本庁と仏生山総合センターに、つながる福祉相談窓口を拡充して開設した。さらに、まるごと福祉相談員やつながる福祉相談窓口に寄せられた相談を、内容等に応じて適切な専門機関や、民間団体等のサービスにつなげるため、相談支援体制のネットワーク構築にも取り組んだ。  
また、子どもの貧困対策コーディネーター事業を紹介するリーフレットを配布するなど、連携による関係機関相互の情報共有とネットワークの構築重要性を周知・啓発した。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

福祉施策の縦割りの壁を超え、包括的な形で、市民・行政・関係機関が助け合う人的ネットワークを確立して、高松型の地域共生社会を構築する。  
また、子どもの貧困対策について、連携による関係機関相互の情報共有とネットワークの構築の重要性を周知・啓発するとともに、より確実な支援につなげるために、関係機関・団体等を対象にコーディネート力を高める研修を実施し、連携の強化を図っていく。

令和 4年度 ( 3年度決算分 ) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	健康福祉総務課
	施策	地域福祉の推進		電話番号	839-2372
	基本事業	地域福祉活動の充実		事業実施主体	市
	事務事業	小規模法人のネットワーク化による協働推進事業		事業期間	平成3年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	社会福祉法において、社会福祉法人が実施することが責務化されている「地域における公益的な取組」について、職員体制の脆弱性等から、単独で実施することが困難な小規模法人が、複数参画し、ネットワークを構築するとともに、各法人それぞれの強みを活かした地域貢献のための協働事業を実施するもの。
-------	--

年度概要	生活困窮家庭に対する相談支援及び学校用品等リユース事業 移動支援サービス事業
------	---

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業 (法律による実施義務無)
--------	----------	---------	--------------------

【事業の目的】

対象(何を)	小規模法人(1の法人において1の施設又は事業所のみを運営しているような法人)
意図(どのような状態にしたいか)	小規模な法人を含め、地域の様々な福祉サービス提供機関が連携し、地域貢献のための取組が促進されるよう、その環境整備を図ることを通じて、地域における福祉サービスの充実とともに、重層的な支援体制の構築を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
参画小規模法人数	法人	18	23	23	23	30

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
ネットワークにおいて実施した事業数	件	目標値	2	2	2		6
		実績値	2	2	2		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度) 100.0% 35点
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成3年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(予算)
トータルコスト	[円]	6,076	9,871	9,888	9,888
(事業費)	[円]	3,800	8,000	8,000	8,000
(職員人件費)	[円]	2,276	1,871	1,888	1,888

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

事業開始3年目の今年度は、困窮世帯の支援のため、社会福祉法人等に制服等の学用品の回収ボックスを設置しリユースするとともに、困窮世帯を相談支援に繋げる取組及び、高齢者の支援のため、ニーズが高い移動支援サービス実現に向け、3地区でモデル事業を行った。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

引き続き、生活困窮家庭に対する相談支援及び学校用品等リユース事業を実施するとともに、高齢者の支援のため、移動支援サービスを実施し、日常の買物や通院等の外出が困難な方を支援する。  
また、移動支援が必要な地域を調査し、参画する法人数の増加を図るほか、地域に周知・広報していく。